

種目別一算競技実施要領

種目別一算競技:種目範囲及び出場者選出方法

種目別範囲は×算・÷算・見取算の3種目とする
 個人総合競技において、各種目の成績上位8名以内を選出し、一算ずつの決勝を実施する
 入賞は金賞、銀賞、銅賞の3枠とするが、12回戦を終えて未決の場合は空き枠とする

種目	×算	÷算	見取算
桁数	6桁×6桁	÷6桁=6桁	8桁20口
競技方法	競技委員が読上げた問題を聞き取り、計算を始める。問題を筆記する用紙は用意しているが、書き留めても書き留めなくても良い事とする 解答用紙に答えを書き終えた時点で早押しボタンを押す 答え合わせは1番早く出来た者のみ正誤を判定する。		問題用紙には15問、記載されている 問題用紙は表のまま配布。すべての問題に付箋が貼り付けられている。 競技委員が「問題番号」を讀上げ終わると同時に付箋を取り除く。 解答用紙に答えを書き終えた時点で早押しボタンを押す 答え合わせは1番早く出来た者のみ正誤を判定する。
制限時間	制限時間は一題30秒とするが、1番手が早押しボタンを押した時点で終了とする		
正誤判定	競技委員確認の元、選手が記載した解答を讀上げ、会場内に表示している解答と照らし合わせ、会場内の全員が審査員となり、正誤判定する。 正答の場合は正答者に1ポイント付与し、誤答の場合は獲得したポイントは失効し、即時失格となる なお、讀上げた答えが正答であっても、競技委員が確認してその答えが解答用紙に記入されていないと認識された場合は誤答とし、即時失格とする。		
順位決定	先に2ポイント先取したのから上位入賞とする 入賞者、確定しなくとも競技は15回戦迄とする		